



家庭訪問お世話になりました ～貴重な情報共有の場に～

4月22日（火）から今週いっぱいにかけてお世話になった家庭訪問。コロナ禍を機に、どこの学校でも訪問のスタイルが、かなり変わりました。本校でも玄関先で、という形が定着しましたが、短い時間でも、学校でするお話を家庭でするお話をとはまた違うところがあります。子供たちのご家庭での様子も詳しく聞ける機会となり、とてもありがとうございます。家庭訪問時に限らず、今後もご家庭と学校で子供たちの話をたくさんしていけたらいいなと思います。お忙しい中ご対応いただき、誠にありがとうございました。

また、本日子供たちを通じて運動会のご案内配付しました。当日の応援はもちろんのこと、PTAの皆様には様々な役割を担っていただきありがとうございます。こちらも、どうぞよろしくお願ひいたします。



「校歌を探る」シリーズ①

「♪不知火の青い海 汐のかおりもきらめきも♪」で始まる本校の校歌。はて、八代海とも呼ぶけれどあまり使わない・・・どうなってるんだろう・・・と改めて疑問に思い、いろいろ検索してみると、「八代海（別名「不知火海ともいう」）といった書き出しの記事がとても多いことに気付きました。たまたま職員室にいた職員に聞いたところ、目の前の海を「八代海」と呼んでいる人はいませんでした。熊本県の公式観光サイトには、次のようにあります。「旧暦8月1日（八朔）に、不知火海（八代海）上に見られる蜃氣楼現象。国の名勝に指定されています。景行天皇の九州巡幸が記された日本書紀には、不知火海上で方向が分からなくなつた景行天皇が、遠方に灯された火によって陸地に導かれ、『誰が火を灯してくれたのか』と尋ねたものの、誰も知らぬ火（不知火）であったという逸話が記されています。毎年旧暦の日は、観望地・永尾神社に多くの人が集まります。」この神秘的な名前は、くだもの、力士名、文学その他いろいろなものに使われ、まさに私たちにとって身近な、生きた歴史そのもの。ちなみに、平均の水深をご存じですか？24mくらいだそうです。毎日表情を変える、私にとっては原風景の海。子供たちにとっても、大切な存在ではないでしょうか。校歌の歌い出しにふさわしいと改めて思いました。



今年も業間の時間を使って様々な活動を行います

以前もお伝えしたことがあります、掃除が終わって5時間が始まるまでの時間を、本校では「業間」の時間と設定し、短い時間ですが、様々な活動を行っています。のびっこ集会、全校体育、外掃除（縦割り班で行います）、学級タイム、学力充実タイム、そして昨年度始めた情報モラルタイムなど・・・。これからは、運動会に備えて体を動かす時間として使うことも多くなると思います。そして、最近は気温の上昇に伴い、運動場が「青々」としてきましたので、24日（木）は、外掃除として除草を全員で行いました。一回に取ることができる量は限られていますが、運動会へ向けての環境づくりに子供たちにも一役買ってもらいたいと思います。トラックをきれいにするにはもちろん大人の手が今後必要ですが、少しずつ整備を進めます。（写真左：決められた範囲を班で協力してきれいにしています。右：金次郎さん前のツツジがとてもきれいに咲いています。季節が変わったなあとこれを見ても感じます）

